

(マーシャルフェレットフードと一般的なフェレットフードの比較)

マーシャル プレミアムフェレットフード

VS

一般的なフェレットフード (使用原料の例)

使用主原料表記			使用原料表記例			
チキン		内臓を含む、鶏の生肉。(真空乾燥・低速加工によって熱に弱いアミノ酸の変質、脂肪分の溶解流失を防いでいます。)	蛋白質 38%以上	チキンミール、ポークミール、ビーフミール、フェザー (鳥の羽) ミール、フィッシュミール、鶏卵粉末など		熱加工され乾燥した動物性蛋白質パウダー。流通の上で変質しにくく品質が安定しているが、アミノ酸や脂肪分が熱変性したり、溶解し消失しています。
チキンミール		鶏肉の乾燥粉末。サブ原料として使用し、蛋白質などの栄養を補完しています。		大豆、胚芽、小麦グルテン、コーングルテン、ポテトタンパク など		
※油脂名原料の表記なし		鶏生肉から得られた油脂のみで脂質18%以上を確保しており、他に油脂原料を使用していません。	脂質 18%以上	チキンオイル、ポークオイル、ビーフオイル、フィッシュオイルなどの動物性油脂		脂肪分を確保するために二次的に添加された油脂類です。
				大豆油、菜種油などの植物性油脂		
乾燥ビートパルプ ※写真:ビート		フェレットに最も適した繊維質といわれています。	粗繊維 3.5%以下	ビートパルプ、セルロース、おからなど		マーシャルとの違いはさほど見られません。
コーンミール		ペレットの保形性確保のため最低限の量を配合しています	炭水化物 —	小麦粉、米粉、コーンなど		原料中に多くの重量が配合されている例が確認されます。
—	—	—	水分 10%以下	—	—	—

※写真は全てイメージです。

マーシャルフェレットフードと一般的なフェレットフードは、各成分の保証値には差がありません。

違うのは、その保証値を構成している使用原料です。決定的な相違点は、マーシャルフードが鶏の生肉を主原料にしていることです。

独自のフェレットファームを持ち、80年以上の経験を持つマーシャル社はブリードで使用しているフェレットフードに絶対的な自信を持っています。